

授業改善推進プラン

旭丘中学校

教科名	家庭科	担当教員	早坂 直子
-----	-----	------	-------

1 昨年度の授業改善の成果と課題

<p>【成果】</p> <p>生活に密着した内容を選択することにより、意欲的に授業に取り組むことができ、基礎的・基本的技能が定着してきた。</p> <p>【課題】</p> <p>できるだけ多くの実習時間を確保し、生徒一人一人の技能向上と基礎的・基本的内容を身に付けさせる。</p>
--

2 指導方法の課題分析

1 年	<p>①基礎的・基本的内容の定着に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> 『食べること』については、ほとんどの生徒が、興味・関心が高いため、基礎的な知識は定着しているが、実技については、経験不足から、基礎的・基本的技能が定着していない。できるだけ多くの実習時間を確保し、生徒一人一人の技能向上を図る。 <p>②主体的な学習態度、学ぶ意欲などに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> 『食べること』については、興味・関心が高いため、発言も多く、意欲的に取り組んでいる。さらに普段から実践できるように、より生活に密着した、興味・関心をもたせるような内容にしていきたい。
2 年	<p>①基礎的・基本的内容の定着に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎的な知識は定着しているが、実技については、経験不足から、基礎的・基本的技能が定着していない。できるだけ多くの実習時間を確保し、また、実習班の人数を少なくしていくことで、生徒一人一人の技能向上を図る。 <p>②主体的な学習態度、学ぶ意欲に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> 意欲的に取り組んでいる。さらに普段から実践できるように、より生活に密着した、興味・関心をもたせるような内容にしていきたい。
3 年	<p>① 基礎的・基本的内容の定着に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義に関する内容については理解しているが、実技については基礎的・基本的技能が定着していない。年間17.5時間で授業時間が減る中、実習時間を確保し、短時間で技能向上を図るための工夫が必要である。 <p>② 主体的な学習態度、学ぶ意欲などに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業に集中し、すべてのことに、真剣に、意欲的に取り組んでいる。さらに普段から実践できるように、より生活に密着した、興味・関心をもたせるような内容にしていきたい。

3 具体的な授業改善策

	指導方法の課題	具体的な授業改善策
1 年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的知識・技能を確実に身に付けさせる。 ○ 実践的・体験的な内容を中心とし、自分の生活に結び付けられるようにする。 ○ ものづくりの楽しさや完成の喜びを体得させる。 ○ 実習時、技能や進度に差がでないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意欲的に取り組んでいけるように、生徒の興味・関心が高い題材や実験・実習を多く取り入れ、知識や技能の定着を図る。 ○ 調理実習は少人数で行い、一回の実習での献立を増やすことにより、確実に基礎的・基本的技能の定着を図る。 ○ 日常生活と関連付けた実践的な課題を与え、生活に必要な技能を身に付けさせる。 ○ 製作・実習記録カード（作業内容・進度・自己評価などを記入）を活用し、仕事の楽しさや完成の喜びを味わえるようにする。 ○ 実習時には、生徒一人一人の様子を把握し、技能や進度に差がでないように、個別指導を行う。
2 年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的知識・技能を確実に身に付けさせる。 ○ 実践的・体験的な内容を中心とし、自分の生活に結び付けられるようにする。 ○ ものづくりの楽しさや完成の喜びを体得させる。 ○ 実習時、技能や進度に差がでないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意欲的に取り組んでいけるように、生徒の興味・関心が高い題材や実験・実習を多く取り入れ、知識や技能の定着を図る。 ○ 調理実習は少人数で、ミシン作業は一人一台で行うことにより、確実に基礎的・基本的技能の定着を図る。 ○ 日常生活と関連付けた実践的な課題を与え、生活に必要な技能を身に付けさせる。 ○ 製作・実習記録カード（作業内容・進度・自己評価などを記入）を活用し、仕事の楽しさや完成の喜びを味わえるようにする。 ○ 実習時には、生徒一人一人の様子を把握し、技能や進度に差がでないように、個別指導を行う。
3 年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業時間が少ない中で、確実に知識と技能を身に付けさせるための工夫をする。 ○ 実践的・体験的な内容を中心とし、自分の生活に結び付けられるようにする。 ○ ものづくりの楽しさや完成の喜びを体得させる。 ○ 実習時、技能や進度に差が出ないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意欲的に取り組んでいけるように、生徒の興味・関心が高い題材や実習を取り入れ、知識や技能の定着を図る。 ○ 調理実習では、一人一人が調理に携われるように、一回の実習での献立を増やすことにより、確実に基礎的・基本的技能の定着を図る。 ○ 日常生活と関連付けた実践的な課題を与え、生活に必要な技能を身に付けさせる。 ○ 製作・実習記録カード（作業内容・進度・自己評価などを記入）を活用し、仕事の楽しさや完成の喜びを味わえるようにする。 ○ 実習時には、生徒一人一人の様子を把握し、技能や進度に差がでないように、個別指導を行う。

4 補足的・発展的な学習指導計画

<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業時間内で課題が達成できず、作業が遅れがちな生徒については、生徒の能力や習熟度に応じて、休み時間や放課後などを利用して、学習の補充を行う。 ○ より発展的な作品製作に関心・意欲の高い生徒については、生徒の力に応じた課題を与えより良い作品に仕上げられるようにする。
